

教育課程特例校(英語科)編成の方針を受けて、児童の様子(学校アンケートより)

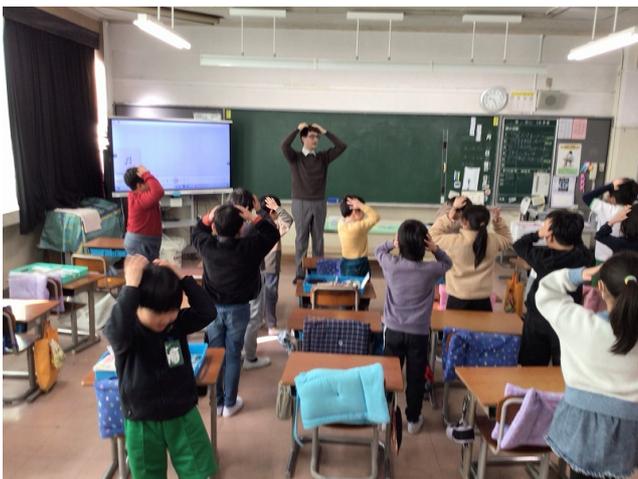
早田小学校では、1～2学年は、英語に慣れ親しむことをねらいとし、小学校第3～6学年においては、積極的にコミュニケーションを図る姿勢を育てられるよう外国人講師を招き授業を工夫し取り組んできた。例えば、

- 1、2年生は英語の歌を歌ったり、歌に合わせて踊ったりビンゴゲームを楽しんだ。
- 3年生は、色や形など習った英語を生かして、スリーヒントクイズを楽しんだ。
- 4年生は、フルーツパフェを作るために、自分の好きな果物を話すなど、英語での会話を楽しんだ。
- 5年生は、道案内やレストランでの注文など、教室をその場に見立てて、実用的な対話を楽しんだ。
- 6年生は、教科書にそって楽しんで英語を話すことができるような場面を設定してコミュニケーション活動を行った。

英語を使わなければいけない活動、できる限り必然性のある場面を工夫して設定し、楽しみながら取り組むことができる学習を推進した。

保護者へのアンケートには、

「外国人講師の先生が面白いから、英語の時間が楽しみと言ってます。」などの声と共に、「英語が話せることに喜びを感じているようです」「英語が楽しみと言っています」という評価をいただいているものの、「英語に慣れるというのは大切なことなので、さらに充実させてほしい」といった声もあった。今後も外国人講師の支援を受けながら、コミュニケーションの楽しみが実感できる授業と、その能力の育成をめざして取り組みたいと考えている。



来年度は、岐阜市が推奨する「岐阜市を訪れる旅行客に英語で岐阜市を紹介」「清流長良川の鵜飼を楽しむために、知っておくと10倍楽しめる豆知識」「メモリアルドームで熱戦を繰り広げる皆さんに、心も体も癒される早田地区の美味しい店の紹介」といった相手意識をもった活動を計画し実践していきたい。

R6 学校関係者評価

令和6年度 学校関係者評価

各評価内容の評価を数字でお答えください。

4：あてはまる 3：だいたいあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：あてはまらない 0：無回答

1 学校の取り組みについて

	評価内容	回答人数					R4	評価
		4	3	2	1	0		
①	お子さんは、楽しく学校へ登校している。	80	42	6	1	0	3.5	3.7
②	お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。	40	73	14	2	0	3.0	3.3
③	学校は、英語の「聞く・話す・読む・書く」といった英語力を向上しようと取り組んでいる。 ※「聞く・話す」…全学年 「読む・書く」…5, 6年生	29	60	33	8	0	2.9	3.0
④	学校は、子どもの気持ちや悩みを理解するように取り組んでいる。	57	70	2	1	0	3.3	3.5
⑤	学校は、いじめの問題を最優先の課題として、未然防止を含めて、職員が連携して取り組んでいる。	56	70	3	0	0	3.3	3.5
⑥	学校は、子どもの体力向上のために運動や健康づくりに取り組んでいる。	57	64	7	1	0	3.3	3.5
⑦	学校は、不審者・事故等の防止・対応に関して対策をとっている。	51	70	7	1	0	3.3	3.4
⑧	教師自らが進んであいさつするなど、丁寧な対応を心がけている。	82	45	2	0	0	3.5	3.7
⑨	学校は、ホームページ・学校・学年通信、スマート連絡帳等で情報発信を行っている。	84	45	0	0	0	3.6	3.8
⑩	学校は、地域の特色や人材を生かす工夫をしている。	79	49	1	0	0	3.4	3.7

2 家庭の様子

	評価内容	回答人数					R4	評価
		4	3	2	1	0		
①	お子さんは、学校や学級での出来事について話している。	49	58	17	5	0	3.2	3.3
②	お子さんは「おはよう」「いただきます」「おやすみ」などのあいさつをしている。	89	33	5	2	0	3.7	3.7
③	早寝早起きを心がけている。	43	67	12	7	0	3.3	3.2
④	テレビやゲーム、携帯端末等の使用のルールを決めている。	28	69	26	6	0	3.2	3.0
⑤	家で、だいたい決まった時間に勉強している。	41	59	22	7	0	3.3	3.1